

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和3年度事業)

令和4年7月

大仙市教育委員会

## 目 次

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検評価の実施方法	1
3	教育委員会の活動に関する事務	2
	(1) 教育委員会の会議の開催状況	2
	(2) 教育長・委員の活動状況	4
	(3) 教育長・委員の研修状況	4
4	総合教育会議の開催状況	5
5	点検・評価の対象事業	6

No.	分 野	事務・事業名	担当課等	ページ
1	学校教育	スクールバス運行事業	教育総務課	6
2	学校教育	学校生活支援事業	教育指導課	7
3	学校教育	部活動指導員配置事業	教育指導課	9
4	学校教育	学校施設空調設備設置事業	施設管理課	10
5	生涯学習	学校・家庭・地域連携総合推進事業	生涯学習課	12
6	生涯学習	草木染め体験教室	花館公民館	14
7	生涯学習	高齢者教育事業（嶽友大学）	神岡中央公民館	15
8	芸術文化	刈和野大綱米プロジェクト	大綱交流館	17
9	生涯学習	ドンパル講座	中仙公民館	19
10	芸術文化	文化財・唐松神社合同防火訓練	協和公民館	21
11	生涯学習	高齢者学級勉強会	南外公民館	23
12	生涯学習	夏休み親子陶芸教室	仙北公民館	25
13	生涯学習	料理講座	太田公民館	27
14	生涯学習	ブックスタート事業	総合図書館	29

6	学識経験者の総評	31
---	----------	----

## 1 点検・評価の趣旨

大仙市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会が行う教育事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとしました。

## 2 点検・評価の実施方法

### (1) 点検・評価の対象とする事務

点検・評価の対象とする事務は、令和3年度の教育委員会の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいでせんビジョン、大仙市生涯学習推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、14事業を選定し、点検・評価を行いました。

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価は、事務事業の点検・評価表により、担当課による自己評価を実施するとともに、有識者からの外部評価をいただきました。

### (3) 外部評価していただいた有識者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、社会福祉法人大空大仙事務局長 逸見博幸氏、学識経験者 菅原 潔 氏の2氏から評価していただきました。

### (4) 外部評価後の検証・実施

外部評価を踏まえ、事務事業を再検証し、できる限り今後の施策に反映していきます。

---

## 【参考】

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 3 教育委員会の活動に関する事務

#### (1) 教育委員会の会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。令和3年度は、定例会のほか臨時会を2回開催し、合計14回開催しました。

開催期日 及び場所	議 案
定 R3. 4. 28 大曲庁舎	議案第 28 号 令和 2 年度大仙市一般会計補正予算（第 2 1 号）案に関する臨時代理について 議案第 29 号 令和 2 年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第 2 号）案に関する臨時代理について 議案第 30 号 奨学資金運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第 31 号 大仙市社会教育委員兼大仙市公民館運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第 32 号 公民館運営協力委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第 33 号 大仙市立図書館協議会委員の任命に関する臨時代理について 議案第 34 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 1 号）案に関する臨時代理について 議案第 35 号 令和 3 年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第 1 号）案に関する臨時代理について
定 R3. 5. 21 大曲庁舎	議案第 36 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 2 号）案に関する臨時代理について 議案第 37 号 給食センター運営委員会委員の任命又は委嘱について
定 R3. 6. 23 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
定 R3. 7. 28 大曲庁舎	議案第 38 号 教育に関する事務の点検・評価報告書案について 議案第 39 号 大仙市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第 40 号 教育支援専門検査員の委嘱について 議案第 41 号 大仙市立中学校用教科用図書採択について
定 R3. 8. 27 大曲庁舎	議案第 42 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 4 号）案に関する臨時代理について
定 R3. 9. 29 太田支所	議案なし（報告案件のみ）
定 R3. 10. 29 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
臨 R3. 11. 10 大曲庁舎	議案第 43 号 県費負担教職員の懲戒処分の内申について
定 R3. 11. 24 大曲図書館	議案第 44 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 5 号）案に関する臨時代理について 議案第 45 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 6 号）案に関する臨時代理について

定 R3. 12. 24 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
----------------------	--------------

令和 4 年

定 R4. 1. 26 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
定 R4. 2. 22 大曲庁舎	<p>議案第 1 号 大仙市公民館条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 2 号 大仙市市民会館等に関する条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 3 号 大仙市刈和野地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 4 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 1 1 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 5 号 令和 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 1 2 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 6 号 令和 3 年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 7 号 令和 4 年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 8 号 令和 4 年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について</p> <p>議案第 9 号 令和 4 年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について</p>
臨 R4. 2. 25 大曲図書館	議案第 10 号 県費負担教職員の人事の内申について
定 R4. 3. 25 大曲庁舎	<p>議案第 11 号 大仙市公民館条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 12 号 大仙市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第 13 号 大仙市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について</p> <p>議案第 14 号 大仙市立小中学校事務共同実施組織運営規程の一部を改正する訓令の制定について</p> <p>議案第 15 号 大仙市学校教職員安全衛生管理規程の制定について</p> <p>議案第 16 号 教育アドバイザーの任命について</p> <p>議案第 17 号 教育アドバイザーの任命について</p> <p>議案第 18 号 大仙市教育委員会職員の処分について</p>

※ 議案番号は暦年による一連番号

※ 9 月定例会は移動教育委員会として開催

(2) 教育長・委員の活動状況

【入学式】

日 程 令和3年4月7日、8日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【学校訪問】

日 程 令和3年7月2日～11月19日 全30日程  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
訪問者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長、指導主事

【公民館訪問】

日 程 令和3年7月19日、26日  
場 所 市内8公民館  
訪問者 教育長、事務局長、課・館長、地域学校協働活動推進員

【卒業式】

日 程 令和4年3月12日、13日、15日、16日、27日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

(3) 教育長・委員の研修状況

【令和3年度東北都市教育長協議会第1回役員会】

時 期 令和3年5月 書面協議

【令和3年度東北都市教育長協議会定期総会】

時 期 令和3年5月 書面審議

【令和3年度第1回県南地区教育長会議】

時 期 令和3年5月20日  
場 所 横手市役所条里南庁舎 会議室  
出席者 教育長、事務局長

【令和3年度秋田県市町村教育委員会連合会第1回定期総会】

時 期 令和3年5月 書面決議

【令和3年度秋田県都市教育長協議会総会】

時 期 令和3年5月 書面決議

【令和3年度大仙市教育委員会委員研修視察】

日にち 令和3年9月29日  
場 所 農業情報振興センター  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【令和3年度第2回県南地区教育長会議】

時 期 令和3年11月11日  
場 所 横手市役所条里南庁舎 会議室  
出席者 事務局長（教育長代理）、教育指導課長

#### 4 総合教育会議の開催状況

総合教育会議とは、平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、市長と教育委員会を構成員として設置されるもので、市長と教育委員会が教育の課題やあるべき姿を共有し、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。

令和3年11月10日、大仙市役所大曲庁舎において令和3年度第1回大仙市総合教育会議を開催しました。この会議では、大仙市の教育の振興に関する総合的な施策の大綱の見直し案について、また、GIGAスクール推進事業の現状と課題について協議を行っています。

##### 【令和3年度第1回大仙市総合教育会議】

日 時 令和3年11月10日（水） 午後3時30分

場 所 大仙市役所大曲庁舎 3階 第1委員会室

協議事項 (1) 大仙市の教育の振興に関する総合的な施策の大綱の見直し案について  
(2) GIGAスクール推進事業の現状と課題について

## 事務事業の点検・評価表

	番号	1	分野	学校教育	担当課	教育総務課																							
<b>事業名</b>	スクールバス運行事業																												
<b>事業の目的</b>	この事業は、スクールバスを運行することにより、学校統合に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校の安全確保と通学難の解消を図ることを目的とする。																												
<b>事業の実施状況</b>	事業費	190,123千円																											
	学校の統合により、通学距離がおおむね4キロメートル以上となった児童、及びおおむね6キロメートル以上となった生徒を対象に、次のとおりスクールバスを運行(運行日数240日程度)した。 ○対象校、対象利用者数及び運行形態																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">学 校 名</th> <th style="width: 15%;">利用者数</th> <th style="width: 55%;">運 行 形 態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神岡小学校</td> <td style="text-align: center;">50人</td> <td>市直営 マイクロバス1台</td> </tr> <tr> <td>南外小学校</td> <td style="text-align: center;">40人</td> <td rowspan="2">市直営 マイクロバス3台</td> </tr> <tr> <td>南外中学校</td> <td style="text-align: center;">8人</td> </tr> <tr> <td>西仙北小学校</td> <td style="text-align: center;">152人</td> <td rowspan="2">民間委託 大型バス2台、マイクロバス8台</td> </tr> <tr> <td>西仙北中学校</td> <td style="text-align: center;">80人</td> </tr> <tr> <td>中仙小学校</td> <td style="text-align: center;">62人</td> <td rowspan="3">民間委託 中型バス2台、マイクロバス4台</td> </tr> <tr> <td>豊成小学校</td> <td style="text-align: center;">54人</td> </tr> <tr> <td>中仙中学校</td> <td style="text-align: center;">60人</td> </tr> </tbody> </table>						学 校 名	利用者数	運 行 形 態	神岡小学校	50人	市直営 マイクロバス1台	南外小学校	40人	市直営 マイクロバス3台	南外中学校	8人	西仙北小学校	152人	民間委託 大型バス2台、マイクロバス8台	西仙北中学校	80人	中仙小学校	62人	民間委託 中型バス2台、マイクロバス4台	豊成小学校	54人	中仙中学校	60人
	学 校 名	利用者数	運 行 形 態																										
神岡小学校	50人	市直営 マイクロバス1台																											
南外小学校	40人	市直営 マイクロバス3台																											
南外中学校	8人																												
西仙北小学校	152人	民間委託 大型バス2台、マイクロバス8台																											
西仙北中学校	80人																												
中仙小学校	62人	民間委託 中型バス2台、マイクロバス4台																											
豊成小学校	54人																												
中仙中学校	60人																												
○利用者数の推移 令和元年度：439人、令和2年度：402人、令和3年度：506人																													
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span><input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した</span> <span><input type="checkbox"/> おおむね達成した</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</span> <span><input type="checkbox"/> 達成できなかった</span> </div> <p>教育委員会と関係各所(委託業者、学校)との間で、年に数回定期的に打合せを行い、運行に係る問題解決に努めている。その結果、天候の変化や、児童生徒の転出・転入によるバス停の変更など、突発的な問題にも学校や委託業者との連絡を密にし、1年を通じて安全に運行を行うことができた。特に中仙地域のスクールバス運行については、既存の2路線に加え学校の統廃合に伴い令和3年度から新たに4路線を増設したが、トラブルもなく順調に運行できた。                      今後も、通学手段の確保は市の責務であり安全性・利便性の面からもスクールバスに代わる交通手段がないことから、事業の継続は必要である。</p>																												
<b>課題等</b>	現在、直営で運行する神岡地域及び南外地域のスクールバス4台については、購入から17、18年が経過し、修繕等の経費が嵩んでいることから、更新を検討する必要がある。 特に冬期間におけるスクールバス運行の安全確保については、各支所や委託業者と連携し、除雪対応や道路状況の確認を行っていく必要がある。 スクールバスの運行には多くの経費を必要とするため、毎年利用児童生徒数に応じて、運行経路の見直し等を行い、経費節減に努める必要がある。																												
<b>外部評価</b>	○多くの経費を必要とする事業ではあるが、通学難の解消には継続が必要な事業と思う。学校の統廃合に伴う路線増設などへの対応もしっかりなされているようだ。無くすことのできない事業であり、バスの更新や直営か委託かの運営形態、運転手の確保、将来的な学校統合時の対応など様々な課題はあると思うが、安全な運行体制を確保しながら事業を継続していただきたい。																												
<b>有識者の意見・評価</b>	◇学校統廃合が進む中、児童生徒の登下校の足を確保することは、対象児童生徒、保護者にとって大きな関心事である。本市はこうしたことに丁寧に対応し、安全安心の確保を第一に事業を進めてくださっていることに敬意を表する。今後、児童生徒の減少が進んでも、バスの運行計画の縮減にはつながらないと考える。事業には多額の経費を必要とすることから、自動車等ハード面の縮小化など、5年後、10年後の見直しをもって事業の継続を図ってほしい。																												



## 事務事業の点検・評価表

番号	2	分野	学校教育	担当課	教育指導課
----	---	----	------	-----	-------

<b>事業名</b>	学校生活支援事業
<b>事業の目的</b>	小・中学校において、学校生活を送る上で様々な配慮が必要な児童生徒に対して支援員を配置し、個々の実情に応じたきめ細かな支援を行うことにより教育環境の充実を図る。

<b>事業の実施状況</b>	事業費	125,346千円																																				
	<p>1 学校生活支援員等の配置</p> <p>①学校生活支援員 配置校：19校 特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活全般において支援を行う。</p> <p>②日本語指導支援員 配置校：1校 海外出身等の日本語指導支援を必要とする児童生徒に対し、支援を行う。</p> <p>③学校生活支援員(看護師) 配置校：1校 学校において医療的ケアを必要とする児童生徒に対し支援を行う。</p> <p>④複式学級支援員 配置校：1校 複式学級の学習及び生活指導に当たる担任の補助等を行う。</p> <p>2 教育アドバイザーの配置 特別支援教育アドバイザーとして、各小・中学校を訪問し、授業参観等を通して、特別支援教育の具体的な支援方法や学校の支援体制について助言を行う。</p> <p>3 GIGAスクールアシスタントの配置【R3新規】 各小中学校に情報端末を整備したことに伴い、その操作支援等を行う。</p> <p>【支援員等配置人数及び決算額】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">支援員数 (人)</th> <th colspan="4">内 訳</th> <th rowspan="2">教育 アドバイザー (人)</th> <th rowspan="2">GIGA スクール アシス タント (人)</th> <th rowspan="2">決算額 (千円)</th> </tr> <tr> <th>①学校生活 支援員</th> <th>②日本語 指導支援員</th> <th>③学校生活 支援員 (看護師)</th> <th>④複式学級 支援員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td style="text-align: right;">95,917</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td style="text-align: right;">111,909</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>61</td> <td>57</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td style="text-align: right;">125,346</td> </tr> </tbody> </table>			支援員数 (人)	内 訳				教育 アドバイザー (人)	GIGA スクール アシス タント (人)	決算額 (千円)	①学校生活 支援員	②日本語 指導支援員	③学校生活 支援員 (看護師)	④複式学級 支援員	R1	61	55	2	1	3	1	95,917	R2	60	54	2	1	3	1	111,909	R3	61	57	1	1	2	5
	支援員数 (人)	内 訳				教育 アドバイザー (人)	GIGA スクール アシス タント (人)	決算額 (千円)																														
		①学校生活 支援員	②日本語 指導支援員	③学校生活 支援員 (看護師)	④複式学級 支援員																																	
R1	61	55	2	1	3	1	95,917																															
R2	60	54	2	1	3	1	111,909																															
R3	61	57	1	1	2	5	125,346																															

<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span><input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した</span> <span><input type="checkbox"/> おおむね達成した</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</span> <span><input type="checkbox"/> 達成できなかった</span> </div> <p>学校生活支援員等の配置により、学校生活を送る上で様々な配慮が必要な児童生徒に対し、きめ細かな支援ができている。このことが学習環境の整備にもつながり、支援が必要な児童生徒だけでなく、他の児童生徒の学習意欲の向上に結びついている。 また、教育アドバイザーによる学校及び学級の支援体制や支援方法についての助言によって、より一層、特別支援教育の充実を図ることができている。 GIGAスクールアシスタントについては、情報端末が整備された初年度である点を踏まえ、軌道に乗るまでは、配置が必要と考える。</p>
-------------	--

<p>課題等</p>	<p>児童生徒数が減少傾向にある一方で、発達障がい等があるなど支援を要する児童生徒は増加傾向にある。学校・家庭等での生活が変化してきていることにより、支援の必要性が高まるケースも増えてきている。</p> <p>令和2年度からの会計年度任用職員制度の実施に伴い、人件費の増額が見込まれるため予算の確保を含め、対応する支援員の体制を整えていくことが課題である。</p>
<p>外部評価 有識者の意見・評価</p>	<p>○様々な配慮が必要な児童生徒への、きめ細やかな支援のための重要な位置づけの事業であると思う。就学前施設においても年々支援を必要とする園児が増えており、乳幼児発達支援事業から小学校入学支援、そして入学後の学校生活支援事業への連結がさらに重要になってくるものと思われる。支援を必要とする児童生徒が増えていることから、予算や人材確保の問題はあると思うが、学校生活支援員の増員を検討いただきたいものである。</p> <p>GIGAスクールアシスタントについては、新規事業として5人が配置されたことで、情報端末操作支援には効果があったものと思うが、GIGAスクール構想が目指すところを理解し、教員と共にその実現のために活躍していただきたい。</p> <p>◇この支援事業は、学校の運営上、欠かすことができないものとなっている。すなわち、支援員の働きに対する期待はいよいよ増し、存在意義が大きくなっている裏付けでもある。限られた予算の中で雇用の人数は限られるが、その配置については学校事情をよく理解し加味した上でのものであり、現場にとってもありがたいものとなっている。</p> <p>生活支援員の勤務は通常では7時間（休憩60分を含むと8時間）となっており、児童生徒の在校時間をカバーできている。他の市町村は6時間というところもあり、限られた経費の中で雇用人数を増やす一方法としてはそれも一考してはどうか。ただし、被雇用者にとっては収入減になることから、雇用人数枠に足りる希望者が現れない場合もあるので、慎重に対応したい。</p>



## 事務事業の点検・評価表

	番号	4	分野	学校教育	担当課	施設管理課																																				
<b>事業名</b>	学校施設空調設備設置事業																																									
<b>事業の目的</b>	この事業は、近年の記録的な猛暑に対処するため、学校施設の普通教室に空調設備を設置し、児童生徒が快適で安全安心な学校生活を送れるようにすることを目的とする。																																									
<b>事業の実施状況</b>	事業費	782,129千円																																								
	<p>(事業概要)</p> <p>平成30年度から令和3年度までの4か年で、市内小中学校30校の普通教室に空調設備を設置した。</p> <p>小学校：20校 (210教室)</p> <p>中学校：10校 (99教室)</p> <p>(事業費決算額)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校Ⅰ期9校</td> <td style="width: 30%;">実施設計費 (平成30年度)</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">7,182,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅰ期9校</td> <td>設計監理費 (平成31年度)</td> <td style="text-align: right;">1,080,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅰ期9校</td> <td>工事監理費 (平成31年度)</td> <td style="text-align: right;">4,212,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅰ期9校</td> <td>工事請負費 (平成31年度)</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">260,539,200円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅱ期11校</td> <td>実施設計費 (平成31年度)</td> <td style="text-align: right;">5,778,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅱ期11校</td> <td>設計監理費 (令和2年度)</td> <td style="text-align: right;">1,122,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅱ期11校</td> <td>工事監理費 (令和2年度)</td> <td style="text-align: right;">4,290,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校Ⅱ期11校</td> <td>工事請負費 (令和2年度)</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">242,264,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校10校</td> <td>実施設計費 (令和2年度)</td> <td style="text-align: right;">6,930,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校10校</td> <td>設計監理費 (令和3年度)</td> <td style="text-align: right;">1,155,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校10校</td> <td>工事監理費 (令和3年度)</td> <td style="text-align: right;">4,400,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校10校</td> <td>工事請負費 (令和3年度)</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">243,177,000円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(計) 782,129,200円</p>						小学校Ⅰ期9校	実施設計費 (平成30年度)	7,182,000円	小学校Ⅰ期9校	設計監理費 (平成31年度)	1,080,000円	小学校Ⅰ期9校	工事監理費 (平成31年度)	4,212,000円	小学校Ⅰ期9校	工事請負費 (平成31年度)	260,539,200円	小学校Ⅱ期11校	実施設計費 (平成31年度)	5,778,000円	小学校Ⅱ期11校	設計監理費 (令和2年度)	1,122,000円	小学校Ⅱ期11校	工事監理費 (令和2年度)	4,290,000円	小学校Ⅱ期11校	工事請負費 (令和2年度)	242,264,000円	中学校10校	実施設計費 (令和2年度)	6,930,000円	中学校10校	設計監理費 (令和3年度)	1,155,000円	中学校10校	工事監理費 (令和3年度)	4,400,000円	中学校10校	工事請負費 (令和3年度)	243,177,000円
小学校Ⅰ期9校	実施設計費 (平成30年度)	7,182,000円																																								
小学校Ⅰ期9校	設計監理費 (平成31年度)	1,080,000円																																								
小学校Ⅰ期9校	工事監理費 (平成31年度)	4,212,000円																																								
小学校Ⅰ期9校	工事請負費 (平成31年度)	260,539,200円																																								
小学校Ⅱ期11校	実施設計費 (平成31年度)	5,778,000円																																								
小学校Ⅱ期11校	設計監理費 (令和2年度)	1,122,000円																																								
小学校Ⅱ期11校	工事監理費 (令和2年度)	4,290,000円																																								
小学校Ⅱ期11校	工事請負費 (令和2年度)	242,264,000円																																								
中学校10校	実施設計費 (令和2年度)	6,930,000円																																								
中学校10校	設計監理費 (令和3年度)	1,155,000円																																								
中学校10校	工事監理費 (令和3年度)	4,400,000円																																								
中学校10校	工事請負費 (令和3年度)	243,177,000円																																								
<b>自己評価</b>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した                 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> おおむね達成した</span>  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった                 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 達成できなかった</span> </p> <p>児童生徒の熱中症リスクを低減させるため、早期に学校施設の普通教室に空調設備を設置する必要があった。また、空調工事の発注件数に比して市内の受注業者数が少ないこと及び国の交付金を活用しなければ事業実施が難しいことなど、多くの課題はあったが、着実に実施可能な事業計画を策定し、計画どおり4か年で空調設備を設置したことは、評価に値する。</p>																																									
<b>課題等</b>	<p>普通教室への空調設備設置事業を優先させるため、これまで年次計画で進めてきたトイレの洋式化事業は一旦中断していたが、今年度から事業を再開した。また、学校施設の大半は建築後30年以上が経過しており、「大仙市学校施設長寿命化計画」においては、改修等に必要な多額の費用が見込まれている。</p> <p>こうした中、学校からは職員室や保健室等に設置の既存空調設備の更新要望が出ており、今後の改修等に関わる事業選択に当たっては、難しい判断が求められている。</p>																																									

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○学校施設の老朽化に伴う長期的な改修計画を進める中で、児童生徒の健康を第一とした本事業を優先し、4か年の計画で完了させたことについては高く評価できる。多額の経費がかかることになるが、長寿命化計画の随時の見直しなどにより、安全で安心な児童生徒の教育環境維持のための改修工事等とともに、現場から要望が出されている既存空調設備更新など、職員の労働環境も考慮しながら他の改修計画も進めていただきたい。</p> <p>◇計画的かつ迅速に事業を進めてくださったことに敬意を表する。 設備の稼働期間は、2か月余り（夏季休業を除く。）と短いが、児童生徒の安全安心に向けた重要課題として取り組んでくださったことは、現場にとってとても大きな事業となっていた。 今後はその維持管理に向けて多額の費用が掛かると思うが、他の熱源や光熱費のエコ意識と重ねながら、進めてほしい。これは、学校における児童生徒と職員の意識とも関連するところだが、一般に光熱費に対する学校現場の意識は薄く感じる。現場への意識の定着も考えていただきたい。</p>
-----------------------------------	---

## 事務事業の点検・評価表

番号	5	分野	生涯学習	担当課	生涯学習課
----	---	----	------	-----	-------

<b>事業名</b>	学校・家庭・地域連携総合推進事業																										
<b>事業の目的</b>	学校と地域がパートナーとして連携・協働できる持続可能な仕組み作りを構築し、地域全体で子どもを育む活動（地域学校協働活動）を推進する。																										
<b>事業の実施状況</b>	事業費	2,830千円																									
	<p>令和3年度から中学校区ごとに配置する本部活動の事務局に各地域総合公民館と中学校（大曲地域）を配置し、協働活動、放課後子ども教室、家庭教育支援の3メニューを総合的に実施する体制を整備した。</p> <p>また、全市的に公民館事業の見直しを図り、当事業の補助金を活用することで財政的負担を減らすとともに、活動数・参画ボランティア数の拡充につなげた。</p> <p><b>【令和3年度実績】</b></p>																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">メニュー</th> <th style="width: 35%;">内容</th> <th style="width: 30%;">実績</th> <th style="width: 10%;">前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">共通事業</td> <td rowspan="2">以下の活動を推進するための体制づくり</td> <td>参加ボランティア総数 延べ10,428人</td> <td>3,418人増</td> </tr> <tr> <td>地域学校協働活動推進員31人 (統括1人を含む。)</td> <td>7人増</td> </tr> <tr> <td>協働活動</td> <td>学校と地域が連携して行う活動</td> <td>10本部（30小中学校を包括）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放課後子ども教室</td> <td>放課後や学校休業日に地域と連携して行う子どもの体験・交流活動</td> <td>53教室 児童2,116人参加</td> <td>19教室増</td> </tr> <tr> <td>家庭教育支援 (新規)</td> <td>保護者が安心して家庭教育を行うための支援活動</td> <td>子育て講座20講座 505人参加</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					メニュー	内容	実績	前年比	共通事業	以下の活動を推進するための体制づくり	参加ボランティア総数 延べ10,428人	3,418人増	地域学校協働活動推進員31人 (統括1人を含む。)	7人増	協働活動	学校と地域が連携して行う活動	10本部（30小中学校を包括）		放課後子ども教室	放課後や学校休業日に地域と連携して行う子どもの体験・交流活動	53教室 児童2,116人参加	19教室増	家庭教育支援 (新規)	保護者が安心して家庭教育を行うための支援活動	子育て講座20講座 505人参加	
	メニュー	内容	実績	前年比																							
共通事業	以下の活動を推進するための体制づくり	参加ボランティア総数 延べ10,428人	3,418人増																								
		地域学校協働活動推進員31人 (統括1人を含む。)	7人増																								
協働活動	学校と地域が連携して行う活動	10本部（30小中学校を包括）																									
放課後子ども教室	放課後や学校休業日に地域と連携して行う子どもの体験・交流活動	53教室 児童2,116人参加	19教室増																								
家庭教育支援 (新規)	保護者が安心して家庭教育を行うための支援活動	子育て講座20講座 505人参加																									
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: left;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> おおむね達成した         </div> <div style="text-align: left;"> <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>令和3年度に目指した組織体制の見直しは順調に達成され、市内10本部に全ての小中学校（30校）に対応できる地域学校協働活動推進員30人を配置したことで活動の幅が広がり、各本部活動の活発化につながった。大曲地域以外の中学校区では、各地域総合公民館を本部事務局としたことで、活動のネットワーク化が図られコーディネート機能の強化につながった。</p>																										
<b>課題等</b>	<p><b>【令和4年度以降の課題と方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大曲地区の事業推進体制を強化するためには、各公民館を拠点としたつながりづくりのネットワーク化が必要である。</li> <li>活動が長期化、形骸化しているものは、目的や内容の見直しを図る必要がある。</li> <li>令和4年度から導入された地域住民が学校運営に参画する仕組みのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動が両輪となって学校と地域の連携を推進していくことにより、更なる地域教育力向上が期待される。</li> </ul>																										

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○令和2年度の事業課題として挙げられていた部分が検討され、令和3年度は本部活動の事務局に各地域総合公民館と大曲地域は中学校を配置したことにより、この事業がより効果的に実施される体制になったと高く評価する。事業費の削減を図る一方で、ボランティア数の増加や放課後子ども教室の増加、新たに子育て講座が実施されるなどの実績は、今回の実施体制整備により学校教育と生涯教育の連携が図られた結果だと思う。</p> <p>大曲地域に関しては、本部が中学校となっていることから、今後生涯学習拠点を本部とするなどの検討をしていただきたい。これにより「地域が一体となって子どもを育てる」という意識の醸成がより進むものと期待される。</p> <p>◇事業目的にあるように、「学校と地域がパートナーとして連携・協働できる持続可能な仕組み作りの構築」が、3年度の大きな取組だったと言える。それは、これまでと比べて組織面での大きな変化であり、公民館をその中心に据えたことである。予算獲得に向けた取組の変化もあるだろうが、現場がもっとも期待していた変化でもあった。</p> <p>こうした取組の変化が本末転倒にならないよう、多忙になるであろう公民館には申し訳ないが、一層のリーダーシップの下、人材の育成や学校と地域の連携をより強固なものにしてほしい。そして、大仙教育メソッドに沿った、大仙らしい連携推進を期待している。</p>
-----------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

番号	6	分野	生涯学習	担当課	花館公民館		
<b>事業名</b>	草木染め体験教室						
<b>事業の目的</b>	幅広い世代が参画する講座を開催することで、地域を創生する活力を推進し、地域全体の教育力の向上と地域住民の生きがい作りの充実に資することを目的とする。						
<b>事業の実施状況</b>	事業費	46千円					
	<p>◆草木染めの工程</p> 水洗い→下処理→染液に浸ける →水洗い→媒染液に浸ける →水洗い→染液に浸ける →水洗い→脱水・乾燥 <p>◆準備するもの</p> ・布 ・豆乳（布の下処理用） ・草木（染液用） ・酢、鉄釘、銅線（媒染液用） ・鍋、ボウル、箸	No.	開催日	場所	人数	うち子供	対象
		1	10月18日	大川西根小学校	10	10	クラブ活動
2		10月28日	角間川保育園	21	11	親子体験	
3		11月2日	藤木公民館	6	0	各種団体	
4		11月8日	花館公民館	9	5	サークル	
5		11月19日	四ツ屋小学校	16	16	クラブ活動	
6		11月23日	花館公民館	27	15	親子体験	
7		12月10日	花館公民館	3	0	各種団体	
8		12月22日	花館公民館	4	0	サークル	
9		1月10日	花館公民館	16	8	親子体験	
10		1月19日	福祉作業所	13	0	利用者	
11		2月9日	福祉作業所	19	0	利用者	
12		2月17日	四ツ屋公民館	10	0	サークル	
13	3月21日	花館公民館	10	0	各種団体		
合計				164	65		
<b>自己評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった						
	草木染めは一つとして同じものではなく、子供から大人まで世代を超えて楽しむことができ、参加者からも高評価を頂いている。また、新聞への掲載により、上小阿仁村教育委員会から、体験の問合せもあり、新たな交流が生まれている。						
<b>課題等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、既存事業が相次いで中止したため新規事業を実施することができた。今後回復した際、出前講座による運営方法を検討する必要がある。</li> <li>・職員が講師による事業は、人事異動等により継続が危惧されるため、指導者並びにボランティアの育成に取り組む必要がある。</li> </ul>						
<b>外部評価</b> 有識者の意見・評価	<p>○コロナ禍の中、限られた予算の中で工夫して実施したこの新規事業が、多くの人に楽しんでもらえる体験型の事業として展開されたことは大いに評価できる。職員負担は大きくなると思うが、出前講座としたことで、参加対象者、団体等多岐にわたっており、更に広がりの可能性が感じられる事業だと思う。今後サークルの育成や作品展覧会開催などにより、参加した方々が継続的に関わることができる場を設けることで、指導者やボランティア育成の課題解決にもつなげていけるのではないだろうか。</p> <p>◇半年間に計13回を実施し、延べ164人もの参加者を得たことは、事業の取組への熱い思いを感じる。そうした思いが伝わり、参加者からの高評価につながっているのではないだろうか。</p> <p>事業推進に向けた課題が「指導者並びにボランティアの育成」とあるが、生涯学習の目的の1つと考えられる「コミュニティの構築」と「生きがいづくり」を踏まえると、その課題はもっともなことだと思う。ぜひ、課題解決に向けて取り組んでほしいし、この事業が更に充実することを願っている。</p> <p>生涯学習にも、ふるさと教育の考えを持ち込むことはどうだろう。（どこそこの〇〇を使ったらこうだった等）</p>						



## 事務事業の点検・評価表

	番号	7	分野	生涯学習	担当課	神岡中央公民館
<b>事業名</b>	高齢者教育事業（嶽友大学）					
<b>事業の目的</b>	この事業は、高齢者に生きがいや心の豊かさに結びつくための学習機会を提供することで、高齢者の生涯学習の推進を図ることを目的とする。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	2 1 1 千円				
	<p>高齢者を対象に5月から3月まで各学科それぞれ年間12回ずつ開催している。講座の内訳は、水墨画・民謡(唄)・民謡(踊り)・書道・俳句・園芸・ヨガの7学科で、木曜日と金曜日に分けて開催することで複数学科の受講が可能となっている。</p> <p>学習を通して知識や技術の向上が図られるばかりでなく、仲間との語らいを通じて生きがいづくりに役立っていることから長年にわたり学習を継続されている方も多く、学習成果の発表の機会として、例年10月に開催されるかみおか地域文化祭も学習者の楽しみの一つになっている。</p> <p>嶽友大学は、昭和58年に開講され40年余りの歴史のある高齢者講座で、最盛期には8学科100人以上が受講していたが、受講者の高齢化、固定化が進んでいる。</p> <p><b>【過去3か年の受講者数の推移】</b>                  ◎令和元年度：6学科49人 ※複数学科受講生3人                  ◎令和2年度：6学科63人 ※複数学科受講生6人                  ◎令和3年度：6学科67人 ※複数学科受講生5人</p>					
<b>自己評価</b>	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="checked" type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の知識や教養を高めるための学習活動の場であるとともに、同好の仲間との交流の場として高齢者の生涯学習や生きがいづくりに大いに役立っている。</li> <li>・学習活動の成果を地域に生かす取組として、公共施設の樹木剪定や民謡大会の運営協力、福祉施設への慰問など地域づくりにも貢献している。</li> <li>・受講者の高齢化、固定化が進んでいるものの、ヨガなど健康志向の新しい分野の講座の開設などにより新規の申込者も見られるようになった。</li> </ul>					
<b>課題等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の確保に向けた取組として、地域を超えた事業PRによる学習情報の提供や高齢者の学習ニーズの把握に努めていく。</li> <li>・受講生の少ない学科の今後の運営について、講師及び受講生と方向性を協議する必要がある。</li> </ul>					

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○地域高齢者の代表的な学びの場としての「嶽友大学」が40年余り継続して開催されていることに敬意を表す。また、高齢者ニーズを捉え、健康づくりに着目してのヨガ講座の新設により、減少していた受講者が令和2年度から増加していることは評価に値するものと思う。</p> <p>学びの意欲がある高齢者がいる限り継続できる意義ある事業とは思いますが、受講者の固定化や受講人数の減少の度合いを見極めて、講座内容の変更や規模縮小などの見直しのほか、場合によっては嶽友大学の名称にこだわらず、隣接地域公民館との分担実施や合同事業としての実施なども検討する時期に来ているようにも思われる。</p> <p>◇神岡地域で長きにわたって行われてきた事業と聞く。高齢者の交流の場、学習の場として地域に浸透してきた意義深い事業だと考える。学習成果を披露する場面が設けられ、それがまたやりがいにつながっているのだろう。だからこそ、継続できたのだろう。</p> <p>講座数や開催回数も多いことから、事業費もかなり大きい。逆に考えると、機会が多いわりには受講者数が少ないような気がする。今後も継続していく事業と考えると、受講者募集に際して、広域にしたり、年齢に幅を持たせたりして多くの方々の受講を得るような工夫を一層考えてほしい（他地域の事業に似たようなものはないか等を情報共有し、講師等の再編成も考えたい。）。</p>
-----------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

	番号	8	分野	芸術文化	担当課	大綱交流館
<b>事業名</b>	刈和野大綱米プロジェクト					
<b>事業の目的</b>	この事業は、西仙北地域の伝統行事「刈和野の大綱引き」を伝承するために、地元の小中学生や高校生に稲作を通じた大綱制作に触れる機会をつくることにより、地域の伝統行事に関心を持ってもらい、将来の担い手を育成することを目的とする。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	150千円				
	<p>西仙北地域内小中学校の児童生徒、西仙北高校の生徒が、刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会の協力により5月に田植え作業を実施した。</p> <p>9月に予定していた稲刈りについては、新型コロナウイルス感染症拡大により、児童生徒による稲刈りは中止としたが、刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会、大綱交流館で稲刈り、はき掛けを行った。</p> <p>刈り取った稲わらは刈和野大綱引保存会へ、収穫した米は各学校へ配布し、学校の授業等で活用した。</p> <p>・田植え作業 5月21日（金） 場所：北野目字三条川原            参加者 西仙北小学校5年生 50人、西仙北中学校3年生 43人            西仙北高校全校生徒 75人            （見学）西仙あおぞらこども園 18人、みつば保育園 21人            協力 刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会</p> <p>・稲刈り作業 9月22日（水）            小中高校の児童生徒による作業は中止            刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会、大綱交流館 16人</p>					
<b>自己評価</b>	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した                      <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった            <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </p> <p>刈和野大綱ファーム、刈和野大綱引保存会の指導の下、小中学生及び高校生が田植え作業を経験し、大綱製作工程の一部ではあるが、作業に携わったことで、「刈和野の大綱引き」への関心を高めることができた。</p>					
<b>課題等</b>	<p>「刈和野の大綱引き」の大綱製作を担える人材不足が深刻なことから、この事業を通して大綱引きに関心を持ってもらい、少しでも後継者の育成を図っていきたい。</p> <p>今後は、ファームや保存会だけでなく、地域の人たちも参画する取組を検討していく必要がある。</p> <p>また、コロナ禍により、小中学校と高校を分けて実施したが、一緒に活動できれば小中高の相互交流が見込まれる。</p>					

<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>○本事業は伝統行事「刈和野の大綱引き」の継承と将来の担い手を育成することを目的に実施されている事業であるが、大仙教育メソッドの目標や大仙市生涯学習推進計画の施策の方向に合致し、かつ、幼児から高校生まで、そして地域の関係する方々も巻き込んで実施しており、とても良い事業だと思う。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容が一部中止となったようだが、課題として挙げられている小中高の相互交流の場面設定や、地域の多くの人たちが参画できる内容を検討しながら是非継続実施していただきたいものである。</p> <p>この事業が続くことで、参加した子どもたちが、いずれは伝統行事の後継者として育ってくれることを期待している。</p> <p>◇国の重要無形文化財の維持・伝承には、有形物にはない難しさがあると思う。特に地域の過疎化と高齢化が、その難しさに拍車をかける。その難しさを少しでも解決しようとする事業の意義が熱く伝わってくる。</p> <p>西仙北小では教育活動の1つとして既に「刈和野の大綱引き」について学んでいる。こうしたことと本事業を束ねながら、「仮称 大綱プロジェクト」と称し、地域教育機関（幼小中高）と行政、地域住民（保存会含む。）を巻き込んだ推進を期待したい。</p> <p>いずれ伝承継続には、官民が一体となって大胆な施策を検討してほしい。</p>
--------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

		番号	9	分野	生涯学習	担当課	中仙公民館
事業名	ドンパル講座						
事業の目的	地域住民の一人一人が生涯学習に取り組むきっかけづくりの場を設けるとともに、心の豊かさや生活の向上に資することを目的に開催する。						
事業の実施状況	事業費						10千円
	<p>1 【ドンパル健幸講座2021】            ～人生100年時代♪～健康で楽しい人生を過ごしましょう！</p> <p>①運動編 7月20日（火）ミニ講話/実技（ストレッチ・ラン イトウォーキング）            ②運動編 7月27日（火）実技（ストレッチ・ウォーキング）            ③食事編 8月3日（火）講話「組み合わせご飯で健幸食～バランスの良い食事について」</p> <p>※運動と食事の両方の学び健康意識を更に高めていく。            ・講師：大仙市高齢者包括支援センター東部（出前講座）            大仙市健康増進センター 栄養士            ・参加者：3日開催 31人参加</p> <p>2 【吊るし飾り～初心者向け～】            ・講師：さんらび（吊るし飾りの会）            ・日時：1回目 11月10日（月）午後1時30分～午後3時30分            2回目 11月17日（月）午後1時30分～午後3時30分            ・場所：中仙市民会館 研修室A・B            ・参加者：2日開催10人参加</p> <p>～過去のドンパル講座実績～            【令和元年度】            ディンプルアート：20人参加            吊るし飾り～初心者向け～：2日間開催34人参加            飾り花結び～新型コロナウイルス感染拡大防止により中止</p> <p>【令和2年度】※新型コロナウイルス感染拡大防止による人数制限有            ディンプルアート：11人参加            吊るし飾り～初心者向け～：2日間開催24人参加</p>						
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した		<input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった				
	<p>この事業は、「ドンパル講座」として、毎年2、3講座を企画している。            「ドンパル健幸講座2021」は大仙市健幸プロジェクト企画「健幸スポット」にもなっていることより、令和3年度は包括支援センターや健康増進センターと連携し、健康意識を高める目的として新たに講座を企画した。運動編の2回目は、実際外に出て歩く計画だったが、暑かったことより参加者の熱中症を考慮し室内運動に切り替えた。新型コロナウイルスの感染防止をしながらできる範囲での開催となったが、市民の健康づくりの一助になれたと思う。参加者アンケートの自由記載では「指導が丁寧で楽しかった。」と満足評価が多かった。            「健幸講座」は市民のニーズをテーマに掲げるなどして健康意識を高める講座に定着できたらと願う。</p>						

<p>課 題 等</p>	<p>参加者から直接感想を伺い、次年度の講座の参考にしている。今後も、参加者が満足のいく講座であることと、様々な生涯学習体験に触れてもらうきっかけとなるような講座を開催したいと考える。若い世代の参加者が少ないため、若い世代の興味のある講座を取り入れたり、参加しやすい曜日等も検討する必要があると思われる。新型コロナ感染拡大の対策は今後も必要であるが、心身共にリフレッシュできる講座・男性の参加しやすい講座等様々な企画を検討し、PRへも力を入れて市民の心の豊かさや生活の向上につなげていきたい。</p>
<p>外部評価  有識者の 意見・評価</p>	<p>○ドンパル講座のうち、「ドンパル健幸講座2021」は大仙市の健康づくり施策である「大仙市健幸プロジェクト」と連動した事業として、関係部門との連携も取れた理想的な形態で実施されているものと評価する。やはり住民の健康に対する関心は高く、住民ニーズを捉えたタイムリーな事業だと思う。運動編、食事編に加えて、心の健康編として、創作活動や趣味的内容のプログラムなどを関連付けて実施するなど、事業としては様々なアレンジが可能と思われる。</p> <p>課題として挙げられているように、男性も参加できる内容の工夫や呼びかけ、実施時期、時間など検討を加え今後も継続していただきたい。</p> <p>◇健康の大切さについては誰もが認識し、公民館等が開催する事業・講座について、時間があれば受講したいと思っている市民は少なくない。しかし、普段の多忙さや他の魅力的な趣味趣向により受講にストップをかける。</p> <p>本事業は、大仙市健幸プロジェクトを活用していること、他の機関（包括支援センター、健康増進センター等）とタイアップしていることを大きく評価したい。今後の他の事業の在り方の参考にもなると考える。また、受講者から感想等を頂戴し、次年度に生かしている点も評価できる。経費の使途等も含めて、よりよい事業の構築に向けて柔軟な企画運営を行っている。</p> <p>PRの仕方について、学校等を活用する（職員が来校し、昼の放送でPR）等、子どもの地域参画を促すような手立て等も活用し、積極的に行ってほしい。</p>

# 事務事業の点検・評価表

番号	10	分野	芸術文化	担当課	協和公民館
事業名	文化財・唐松神社合同防火訓練				
事業の目的	<p>～地域の宝を地域で守ろう～</p> <p>将来に継承すべき貴重な地域の財産である文化財を自分たちで守るため、文化財の火災予防について学ぶとともに、地域の交流及び活性化の推進を図る。</p>				
事業の実施状況	事業費		0千円		
	<p>昭和24年1月26日、奈良県にある法隆寺金堂の国宝「十二面壁画」の大半が焼損したことをきっかけに、文化庁と消防庁は、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めた。この日を中心として、全国では文化財における防災活動が展開されており、協和地域でも、地域と学校の協働により防火訓練を実施している。 令和3年度は、11月の文化財防火週間に合わせて実施した。</p> <p>内 容 消防訓練、軽可搬式ポンプ放水訓練、水消火器訓練、バケツリレー、消防太鼓（雨天中止）、餅つき、豚汁（飲食中止持帰り）</p> <p>主 催 協和地域文化財防火訓練実行委員会 （境町内自主防災会、唐松神社氏子自営消防団、境町内会）</p> <p>共 催 大仙市、協和公民館、協和小学校</p> <p>後 援 大仙市消防団、協和消防分署、大仙市消防団協和支団、婦人会</p>				
自己評価	<p><input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した</p> <p><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>実行委員会へ事務の移行を進めているが、少子高齢化の現状を踏まえ事業の継続性や安全面を考慮すると、行政の共催事業として、今後も継続したいと考えている。また、地元の方や児童も大変喜んでくれる姿が伺えることから、地域学校協働本部事業としても、地元を中心に地域を活性化に導く、最適な事業と考えている。</p>				
課題等	<p>継続実施してきた餅つきや飲食のイベントは、コロナウイルスの影響により2年連続で実施できていないが、再開に向け十分な対策を検討していきたい。</p> <p>また、事務の移行を進めているが、大仙市内でも協和地域は、少子高齢化による人口の減少が著しいため、行政のサポートがなくなるとの開催は困難と考える。</p>				

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○「地域の宝を地域で守る」という意識啓発の事業としては大切な事業であり、合同による防火訓練をこれまで続けられてきたことについては敬意を表したい。一方、芸術文化に関する教育事業という視点からこの事業を見た場合、参加人数や訓練とあわせて行うイベントとして何をしたかの評価ではなく、この事業への参加によって、地域住民や子どもたちの防災意識が高まり、大切な文化財をみんなで守ろうという意識の醸成に繋がっているのかというところが事業評価の大事な点であると思う。地域学校協働活動としても位置付けられているようなので、地域学校協働本部としてこの事業の目的、意義を学校ほか関係者で共有し、地域の大切な財産をみんなで守るために、地域から子へ、親から子へ伝え続けていける事業として継続されることを期待する。</p> <p>◇とても魅力的な事業であると思う。ぜひ、児童生徒のみならず、その保護者、地域住民をも巻き込んで、文化財保護、防火意識、世代間交流を進めてほしい。</p> <p>学校や地域住民と大きく関わる機関は、公民館が唯一である。経費の掛からない事業ではあるが、公民館の役割はとても重要と考える。どうか、積極的な関わりを期待したい。</p> <p>大仙市では「大仙教育メソッド」を作成し、児童生徒の生きる力の育成に向けて、その基礎となる力の一つとして「市民性（シチズンシップ教育）」を掲げている。この市民性を向上させるには、地域を「知ること」と地域に「関わること」が重要だと思う。大仙市協和地域に居住し、それが自身の将来の礎になれるよう、このような事業を通して、地域愛を育てていきたいものだ。これは、児童生徒のみならず、一般市民にもそうありたい。</p>
-----------------------------------	--



## 事務事業の点検・評価表

	番号	11	分野	生涯学習	担当課	南外公民館
<b>事業名</b>	高齢者学級勉強会					
<b>事業の目的</b>	この事業は、様々な知識の習得及び交流を通して、高齢者の学習意欲の向上を図ることを目的とする。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	5千円				
	<p>その時々に応じた高齢者に必要な情報の提供や知識を習得するための講座と県内施設の視察研修を1回ずつ行っている。令和2年度からコロナウイルス感染拡大防止のため視察研修は中止し、2回の講座を企画している。令和3年度は感染拡大を受けて8月の講座を中止し、11月は自粛による運動不足解消のため「3B体操」と以前実施して好評だった「スカットボール」体験を実施した。</p> <p>【実施日】 令和3年 8月27日 中止 令和3年11月30日 9:30~12:00</p> <p>【実施場所】 南外コミュニティセンター</p> <p>【参加対象者】 市内高齢者等</p> <p>【講師】 3B体操：渡部けい子さん（大曲）</p> <p>【参加者数】 令和元年度 58人（1回目 42人うち園児22人・2回目 16人） 令和2年度 37人（1回目 17人・2回目 20人） 令和3年度 22人（1回目 中止・2回目 22人）</p>					
<b>自己評価</b>	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した</span> <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <span style="float: right;"><input type="checkbox"/> 達成できなかった</span>					
	<p>コロナウイルス感染拡大により1回目を中止としたものの、2回目は予定どおり開催することができた。コロナ禍で体を動かしたいといった要望が多くスポーツに特化した講座となったが、参加者には好評だった。感染防止対策として検温や聞き取りによる体調把握、会場内の消毒、椅子の配置などの工夫を行ったほか、人との一定の距離を保つ、水分補給をする、消毒に加えて、こまめな手洗いをするなどコロナウイルス以外の対策についても協力をもらえるように開会時に注意を呼び掛け安全安心な勉強会となった。</p>					
<b>課題等</b>	<p>健康に関する講話や体操教室の要望は多いものの、高齢であることを理由に地域外へ出かける視察研修への参加者は少ない。高齢になり地域外に出かけて学習する機会が減ったため、視察研修を実施してほしいという意見もあり、アフターコロナに向けて市民のニーズに応じた内容を検討したい。</p>					

外部評価

有識者の  
意見・評価

○年2回の講座が、新型コロナウイルス感染症の影響で1回の開催になったことは残念だが、ニーズに応えた内容で講座を開催できたことは評価できる部分だと思う。

他の公民館の高齢者対象の講座や学級と比べて開催回数が少ないが、近隣の公民館の講座等への参加や、大曲地区で開催される講座等へ参加する高齢者が一定数はいるとのことであり、自地域開催の講座にこだわらず、高齢者自身が参加場所や内容を選択し学習継続できる環境を整えるという意味では、今後の学習形態の一つのあり方かもしれない。そのためには、各地の学習情報などを地域の皆さんに提供できる仕組みも必要ではないかと思う。

高齢を理由に参加者が減っているという視察研修については、参加対象年齢などの見直しなどにより、参加意欲のある方々が、興味のある施設等の視察研修に参加できる内容を検討してみてはどうだろうか。

◇ここ3年間の参加者数を見ると、どの回もほぼ20人前後で推移している。人口減少の中でこの人数を確保していること、そして男性の高齢者も3割ほどを占めていることに敬意を表したい。

事業の目的として「高齢者の学習意欲の向上」とあるが、これまでの事業の経緯や伝統を引き継ぎ、他の地域でも行っている同様な事業と相容れながら、相互交流を位置づけたり、講師の融通を図ったりして、より持続可能な事業の在り方を模索して欲しい。また、地域住民の中で核となる人材を育て、コミュニティを活性化させながら、取り組む方策も検討してほしい。

### 事務事業の点検・評価表

	番号	12	分野	生涯学習	担当課	仙北公民館																																																												
<b>事業名</b>	夏休み親子陶芸教室																																																																	
<b>事業の目的</b>	この事業は、家庭教育事業の一環として、親子参加型の陶芸創作体験を通じ、ものづくりの大変さを理解するとともに、作品を完成させたときの喜びや感動を親子で共有し、その絆を深めることを目的とする。																																																																	
<b>事業の実施状況</b>	事業費			20千円																																																														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">■対象</td> <td colspan="5">仙北地域内の小学生とその家族</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">■実施日程</td> <td>作品形成</td> <td colspan="4">7月21日</td> </tr> <tr> <td>釉薬かけ作業</td> <td colspan="4">8月2日、3日</td> </tr> <tr> <td>窯焼き作業</td> <td colspan="4">8月10日</td> </tr> <tr> <td>窯出し作業</td> <td colspan="4">8月16日</td> </tr> <tr> <td>作品引渡</td> <td colspan="4">8月17日～</td> </tr> <tr> <td>■実施場所</td> <td colspan="5">仙北ふれあい文化センター 陶芸芸室・談話室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">■参加者数</td> <td colspan="5">R3:10組(20人)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※R2:10組(20人) R元:10組(22人)</td> </tr> <tr> <td>■講師</td> <td colspan="5">地域の陶芸愛好家 2人</td> </tr> <tr> <td>■参加費</td> <td colspan="5">1人500円</td> </tr> </table>						■対象	仙北地域内の小学生とその家族					■実施日程	作品形成	7月21日				釉薬かけ作業	8月2日、3日				窯焼き作業	8月10日				窯出し作業	8月16日				作品引渡	8月17日～				■実施場所	仙北ふれあい文化センター 陶芸芸室・談話室					■参加者数	R3:10組(20人)					※R2:10組(20人) R元:10組(22人)					■講師	地域の陶芸愛好家 2人					■参加費	1人500円			
■対象	仙北地域内の小学生とその家族																																																																	
■実施日程	作品形成	7月21日																																																																
	釉薬かけ作業	8月2日、3日																																																																
	窯焼き作業	8月10日																																																																
	窯出し作業	8月16日																																																																
	作品引渡	8月17日～																																																																
■実施場所	仙北ふれあい文化センター 陶芸芸室・談話室																																																																	
■参加者数	R3:10組(20人)																																																																	
	※R2:10組(20人) R元:10組(22人)																																																																	
■講師	地域の陶芸愛好家 2人																																																																	
■参加費	1人500円																																																																	
<b>自己評価</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった                 </td> </tr> </table>						<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった	<input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった																																																										
	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった	<input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった																																																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は、夏休み期間中に作品が完成することから、”夏休みの作品”として取り組む小学生も多く、人気がありとても喜ばれている教室であると感じている。</li> <li>・形成から色付けまで一気にできる粘土を使っていることから、1回の来館でできることも、人気の一つかもしれない。</li> <li>・同じものに挑戦する親子もあれば、それぞれの作品に没頭する親子、子供より夢中になっている親など、取り組む姿は様々見受けられるが、難儀して作り上げた作品を引き渡された際の笑顔に勝るものはないと感じる。</li> </ul>																																																																		
<b>課題等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気があり喜ばれている事業である。講師が地域の人であるため、参加者との交流も容易に図られていることから継続していきたい。</li> <li>・当地域の焼き物同好会員が定期的に窯を利用しているので、窯の不具合等に気付けるタイミングはあるが、開館当時から窯のためガスの点火口等に劣化が見られる。今後も継続し、かつ、安全に事業展開していくためにも、窯の点検、修理等は検討していかなければならないが、相当な費用が掛かるものと思われる。</li> </ul>																																																																	

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○親子参加型の陶芸教室は、夏休みの作品を作れるということが人気の理由の一つのことだが、やはり親子の触れ合いと絆を深めることができるというのがこの事業の一番のセールスポイントかと思う。一回の来館であとは出来上がりを受けとることができるというのは参加者の負担が少なく喜ばれているかもしれないが、途中の釉薬かけや、窯焼き、窯出しなどの作業も希望により参加、見学できるようにすれば、焼き物の完成までの一連の工程を知ることができ、陶芸に関心を持つ子が増えるかもしれない。また、出来上がった作品を公民館に展示して見てもらうなども企画してみてもどうだろうか。</p> <p>◇親子が共にものづくりをする活動を通して絆を深めるとともに、親子同士の交流も促すことができる事業であると認識する。会場、準備、指導の関係から、参加は10組の親子に限定しているが、実施に関わるあらゆる物事の融通や工夫によって複数回の実施により、より多くの親子が参加できるよう検討してほしい。</p> <p>子どもにとってもものづくりは大きな魅力がある。陶芸は出来上がるまで時間がかかる面もあることから、別のものづくりも検討する余地があると考え（窯の修理修繕・維持には経費がかかる。）。</p>
-----------------------------------	--



<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○いつの時代も料理は人気がある講座で、世代の異なる方々の交流の場としても意義のある講座だと思う。今回郷土料理をテーマとして実施したのも良い着想だと思う。いろいろな料理番組やネットの情報、料理本も多数あり、自分で見て作ることができる時代だが、集まって作るという良さもあるので、その時々合ったテーマでの料理講座として継続できるものと思う。課題として挙げているように、地域の食材等を使った料理などは、地域の公民館ならではの内容になると思うので、是非実現させてほしい。また、すでに実施されているかもしれないが、社会福祉協議会などと連携し「一緒に作って一緒に食べる」一人暮らし男性の料理講座なども企画してみてもどうか。</p> <p>◇かつては、地域行事や学校行事を通して各家々の食を披露し共有する場があった。このことが食の伝統継承になるなど、地域内の交流につながっていた。最近では地域コミュニティが大きく変化し、そのような機会が少なくなっている。本事業は、そうした機会を意図的につくり、地域活性化の一助になっていると感じる。</p> <p>太田は多様な農業法人や農業振興情報センターがあり、様々な食材を提供している地域でもある。それらの食材を取り入れた食の教室も一考されたい。もちろん、それらは学校給食にも提供されているが、児童生徒の地域愛や市民性の向上にも大きく寄与できる可能性を持っていると考える。</p>
-----------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

	番号	14	分野	生涯学習	担当課	総合図書館														
<b>事業名</b>	ブックスタート事業																			
<b>事業の目的</b>	<p>ブックスタートは、全ての赤ちゃんのまわりで楽しく温かいひとときが持たれることを願い、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を介して親子の心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを支援することを目的としている。</p> <p>「第3次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」の「基本目標 1 家庭・地域での本との出会いづくり」の重点項目でもある。</p>																			
<b>事業の実施状況</b>	事業費		415千円																	
	<p>新型コロナウイルス感染症拡大以前(R元年度まで)は、健康増進センターで行われていた4か月児健診の際に、図書館職員とボランティアが会場に出向き、乳児やその保護者を対象に読み聞かせを行っていたが、R2年度は読み聞かせは中止とし、ブックスタートパック(絵本2冊、子育てに関する冊子、市立図書館の利用案内や利用カード申請書、読み聞かせの案内等)の配付のみを各図書館窓口で実施した。</p> <p>令和3年度は、より多くの方へお渡しするため、図書館窓口での配付以外に、7か月児健診、1歳6か月児の集団健診会場へ図書館職員が出向いて行き、ブックスタートパックをまだ受け取っていない方へ手渡した。</p>																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th></th> <th>対象者</th> <th>窓口配付数</th> <th>健診時配付数</th> <th>R3年度末 未配付数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td style="text-align: center;">385</td> <td style="text-align: center;">159</td> <td style="text-align: center;">(R3年度) 223</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td style="text-align: center;">387</td> <td style="text-align: center;">161</td> <td style="text-align: center;">185</td> <td style="text-align: center;">41</td> </tr> </tbody> </table>							対象者	窓口配付数	健診時配付数	R3年度末 未配付数	R2年度	385	159	(R3年度) 223	3	R3年度	387	161	185
	対象者	窓口配付数	健診時配付数	R3年度末 未配付数																
R2年度	385	159	(R3年度) 223	3																
R3年度	387	161	185	41																
<b>自己評価</b>	<p><input type="checkbox"/> 順調に達成した    <input type="checkbox"/> おおむね達成した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった    <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p>																			
	<p>R2年度は図書館窓口での配付としていたため、年度末時点では4割程度しかブックスタートパックを取りに来ていただけなかった。</p> <p>R3年度は再開した集団健診会場に図書館職員が出向いて、前年度配付できなかった方へブックスタートパックを手渡しすることできた。ブックスタートは、「絵本」と読み聞かせの「体験」をセットでプレゼントする事業であるため、事業目的の一部は達成できたものと考えている。</p> <p>感染状況も落ち着きが見られるため、R4年度は6月から感染防止対策を取りながら、希望者には短時間の読み聞かせを行い、赤ちゃんの健やかな成長の支援を再開していきたいと思う。</p>																			
<b>課題等</b>	<p>読み聞かせは、感染拡大防止のため当面は希望者のみとし、1~2人ずつを対象として実施していきたい。保育現場では、マスク着用により表情が見えにくくなることによる発達への影響も懸念されているとの報告もある。口元が見える透明マスクの着用による絵本の読み聞かせの実施も検討していきたい。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、実施方法は工夫をしていきたい。</p>																			

<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度、3年度はこの事業の大きな特徴である読み聞かせができないなど、計画どおりの実施はできなかったようだが、「絵本を介して親子の心ふれあうひとときを持つきっかけづくり」を目的とした事業として今後も継続してほしいものである。</p> <p>過去の事業評価の中で「保護者アンケートを実施しブックスタート後の検証を図りながら今後につなげていきたい」との課題を挙げていたので、配付数の実績評価に終わらず定期的にアンケートを実施し、この事業が親子のふれあいや図書利用の促進につながっているかの効果検証もしながら、次に結び付けていく作業も重要かと思う。</p> <p>◇生涯の読書習慣については、幼少期の本に関わる機会や環境が大きく関係すると考える。保護者においては、わが子にできるだけ読書に関する習慣を身に付けたいと願っている場合が多い。しかし、現実はその楽観的ではない。習慣付けに向けた機会をもてるか、又は、機会を継続できるかが大きな課題となる。そこでこうした事業が意味をもってくると思う。</p> <p>事業の実際が、健診の際に行われたことに意義を感じる。読み聞かせ等の様子を通じて、乳幼児の表情や傾向を観察し、場合によってはその後の育みに生かす指導・助言が可能となる。また、親同士の交流の場も生まれる。</p> <p>事業そのものはブックスタートだが、小学校入学前までの成長段階を踏んだ、継続的な、縦につながる事業に発展はできないだろうか。そして、学校での読書活動に連続させることで事業の効果は倍加すると考える（経費のこともあるので、無理かもしれない。）。</p> <p>事後の保護者による評価を実施し、事業の意義を下支えしてほしい。</p>
-----------------------------------	--



## 外部評価委員の総評

### ■ 逸見博幸（社会福祉法人大空大仙事務局長）

元大仙市教育長の三浦憲一氏は、自著「大仙鼓動物語」の中で、教育について「教え育てることは、広い海原に向かう川の流れのように感じる。穏やかな流れであったり流路が変わったり、時には激流であったりもする。特に少子化時代に入り、川の流れの水量や方向も変化するかもしれない。持続可能な社会に向かうための自立した進路を育成するための教育の重要性をあらためて感じる。」と述べている。今回、令和3年度の教育事務事業のうち14の事業について説明を受け、教育委員会及び関係する各課、各機関職員の皆さんが、社会の激しい変化や、コロナ禍というこれまで経験したことのない特殊な状況にも対応しながら、流れを読み、激流を乗り越え、広い海原を目指して進もうと奮闘していることがうかがわれた。このような皆さんの日々の努力に対しては感謝と敬意を表するものである。

#### ○学校教育について

大仙市の教育大綱では、学校教育が目指す姿を「地域活性化に寄与できる子ども（地域を元気づけ、将来的に地域を支える人材と世界に羽ばたく人材）の育成」としている。学校教育の充実のために、各小中学校が「大仙市教育メソッド」を共通認識し地域との連携も図りながら、それぞれ特色ある取組を実践していることは何といても大仙市の学校教育の強みであると思う。

しかしながら、児童生徒数の減少への対応、安全な教育施設環境の維持、ICT化の推進や、教職員の働き方改革に向けた様々な取組など、今まさに川の流れが激しく変化しているところを進んでいる状況ではないだろうか。今回事業評価として説明を受けた学校生活支援事業、部活動指導員配置事業、学校・家庭・地域連携総合推進事業については、数量的な実績評価としては目標値をクリアしているかもしれないが、まだ解決すべき課題は多いように思える。大仙市の教育目標の達成を目指してより良い流れを見つけて進んでいただくことを期待する。

#### ○生涯学習について

生涯にわたる学習（教育）活動は途切れることなく流れ続ける川のように、脈々と受け継がれていくべきものと思う。それは幼児期から義務教育、高等教育、青年期から高齢期までの生涯学習へと続く対象者の連続性でもあり、その学習の場を提供する側としての事業の継続性でもあると考える。

生涯にわたる学習の場の提供として、各公民館が低予算の中で住民ニーズに応えた講座等を実施しており、既存の講座等の事業であっても、実施方法の改善や内容の工夫などの努力が見られる。しかしながら、報告のあった事業については趣味や教養の講座が主であり、生涯学習推進計画の施策の一つとして掲げられている「学習成果を生かした地域貢献」という部分に関しては少し物足りないように感じる。持続可能な地域コミュニティ活動のために、市の関係分野とも連動し、地域課題や生活課題をテーマとした住民主体の学習活動を通じて、その課題解決につながっていくような事業に取り組んでいくことも必要ではないだろうか。また、ここ数年、青少年を対象とした事業の報告が見られないことは残念なことである。参加者がいないなどの過去の実績などから事業として成り立たないということかもしれないが、生涯にわたる学習の流れの中で青少年の部分が途絶えてしまっているように見える。参加者の確保などが難しいことは承知しているが、考えることをあきらめず、若い人たちの学習の場の企画や地域活動参加の推進に取り組んでいくことが、地域の次世代の人材を育成することにつながると思うので、検討をお願いしたいものである。

令和3年度から行政組織再編によりスポーツ分野は教育委員会が行う点検・評価の事業には含まれなくなったとのことだが、大仙市の教育大綱には「スポーツ振興」が位置付けられていることから、学校教育、生涯学習と同様の役割を持つ分野であることに変わりはないと思う。既に行っていることかもしれないが、大仙市が掲げる教育目標の達成のためには「教育に関する事務の点検・評価の事業」とは別に、スポーツ活動の点検・評価の結果を何らかの形で教育事業や教育計画にフィードバックする仕組みを作ることで、より良い教育の流れを作ることができるのではないだろうか。

教育活動にこれで終わりというゴールはない。「大仙市の教育」という大きな川の流れが途絶えることなく流れ続けることができるよう、教育委員会職員の皆さんの一層の活躍を期待する。

■ 菅 原 潔 (学識経験者・元小学校長)

教育委員会事務局の13の課所から事業の説明を頂戴した。それぞれ、所属課所の自覚と責任をもって、丁寧な説明をしてくださった。

教育委員会の業務は、地域住民と直接的に関わる行政サービス色が濃い。人口減少の下で少子高齢化が進み、地域のコミュニティが徐々に失われていく状況にあって、生活水準の維持向上のためには行政からの手助けやリードがぜひとも必要と考える。引き続き、学校や地域の声を聞き、住民と近い距離を保ちながら、日々の業務に励んでほしいと思う。

市民はさまざまな事業に触れ、参加することで、生きがいややりがい、希望をもつことの大切さを体得し、身に付けて大仙の地で過ごしている。その陰で職員の方々の日々の働きや努力があることには意識が及ばないかもしれない。公務員であれば当然と思う市民もいるだろう。しかし、それが公務員なのであって、見かえりを期待してはいけない。熱さをもちながらも、日々坦々（淡々）と業務を進めていくことを期待したい。

行政サービスや教育は、事業の評価を数値のみでは計れない面をもっている。そこで、事業の実施に当たっては達成可能な数値目標（手が届きそうな目標値）を立て、その達成に向けて何をどのようにしていくかを明確にして推進していくことが大切だと感じる。つまるところ、結果評価は自分たちの施策がどうだったかを振り返る拠り所となる。ぜひそうした厳しさをもって業務に励んでほしいと願う。

この度、外部評価委員を務めることで、行政サービスの一端を垣間見ることができた。どうか、今後も伊藤雅己教育長、築地高事務局長のリーダーシップの下、市民の安全安心、希望の醸成に向けて確かな歩みを刻まれることを御祈念申し上げます。